

# セゾン・バンガード・ グローバルバランスファンド



## 運用報告書(全体版)

第11期(決算日 2017年12月11日)

### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、主として米国バンガード社が運用する株式と債券のそれぞれのインデックスファンドの中から資産規模、運用実績、コストなどの面から厳選したファンドに分散投資します。具体的な資産配分は運用状況ならびに市場状況に応じて随時変更(増減ならびに入替など)します。原則として、為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	有価証券に投資する外国投資証券を投資対象とします。
組入制限	①外貨建資産への投資には制限を設けません。 ②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③投資信託証券ならびに短期金融資産以外の有価証券への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

### 受益者の皆さまへ

平素は「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、第11期決算を行いましたので、当期の運用状況をまとめております。

当期間も信託財産の長期的な成長を図ることを目的とした運用を、変わらずに行って参りましたことを合わせてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期資産形成のお役に立てるよう、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



## セゾン投信

### ■お問い合わせ先

セゾン投信株式会社 お客様窓口  
〒170-6037 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 37F  
[ホームページ] <https://www.saison-am.co.jp>  
[電話番号] 03-3988-8668  
[営業時間] 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

## ごあいさつ

当ファンドの第11期は、振り返ると年間を通じて概ね右肩上がりでもコンスタントに基準価額は上方修正を続け、決算期末は設定来最高値に至り年間騰落率は+11.3%と巡行速度を超えるリターンを享受出来ました。

前期には英EU離脱や米大統領選のトランプ氏勝利など、マーケットにとって想定外の事象が現出して、2017年はその不確実性がグローバルに政治・経済を揺さぶる可能性と常に金融市場は対峙しながらも、結果的には世界経済全体がリーマンショック前以来久し振りに安定した成長軌道を回復する年となりました。

世界経済はITの劇的進化が生活レベルに浸透し始めて、AIやIoTといった新たなテクノロジーが複数のイノベーション実現を促すライフスタイル革命期に入ったのです。そこでは産業界の事業ヒエラルキーが抜本的に構造転換し、伝統的ものづくりとは別次元の、コトづくりとも言える新たな価値創造産業の勃興が始まったばかりなのです。

そこに併せて変化し始めているのが、事業に携わる労働者の働き方の大転換であり、IT情報革命の進展が仕事の仕方を変え、生活の仕方が変わり、消費スタイルが変化する、一方では全く新しい産業が創出される、それらを支える新たなエネルギーが普及する等々、21世紀グローバル化社会は間違いなく次の成長ステージに入ったと言えます。

世界の金融市場はそうしたパラダイムシフトへの大きな成長期待に、リーマンショック以降の日米欧金融緩和で溢れたマネーが相乗して、年間を通じて株高が進行したわけです。

更には新産業革命が伝統的物価上昇サイクルを覆して、世界的低インフレの環境に導かれたことによる低金利の継続が「適温相場」となって、株高・債券高の併存というイレギュラーな好循環に支えられた第11期のマクロ環境でした。

金融市場は今後も期待とその行き過ぎに対する調整を繰り返すに違いありませんが、長期的には地球規模のメガトレンドが世界経済の成長軌道をより堅固で安定させる源泉となるはずで、当ファンドはそうした長期に亘る大河の流れに自然体で乗って、地球経済と共にお金が育つ前提のポートフォリオ戦略を継続してまいります。

お蔭様で、当期中に当該純資産残高は276億円増加して約1,540億円となり、国内最大規模の長期国際分散型バランスファンドに成長しております。長距離列車「セゾン号」乗客の皆さまには、長期投資の旅を続けていただいていることに乗務員一同感謝申し上げますと共に、第11期の運用状況を報告させていただきます。

代表取締役社長 中野 晴啓

## 運用担当者の紹介

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、世界の優れたリソースを活用しながら、日本の生活者の方の長期の資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、チームで運用を行っています。

代表取締役社長、CIO(チーフインベストメントオフィサー)

### 中野 晴啓

#### 主な役割

運用の基本的な方向性の指示

運用経験年数 27年

#### 経歴

1987年 明治大学商学部卒業

1987年 株式会社クレディセゾン入社。セゾングループの金融子会社にて債券ポートフォリオを中心に資金運用業務に従事した後、投資顧問事業を立ち上げ運用責任者としてグループ資金の運用のほか外国籍投資信託をはじめとした海外契約資産等の運用アドバイスを手がける。その後、2006年セゾン投信を設立。2007年4月から現職。



運用部長、ポートフォリオマネジャー

### 瀬下 哲雄

#### 主な役割

運用方針の決定、資産配分比率の決定、キャッシュフローの管理

運用経験年数 11年

#### 経歴

1996年 上智大学経済学部経営学科卒業

2006年 セゾン投信入社、2007年3月のファンド設定時より運用を担当し、2011年よりポートフォリオマネジャー、2014年から現職。



## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) 合成指数		為替レート		投資対象ファンド組入比率									純資産総額
	(分配) 税込み 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率	米ドル /円	ユーロ /円	投資証券 組入比率	U.S.500 ストック	ヨーロッパ ストック	ジャパン ストック	ポリア ックス ストック	エマー ジック ストック	U.S. ガバメント ボンド	ユーロ ガバメント ボンド	ジャパン ガバメント ボンド		
第7期 2013年12月10日	円 11,347	円 -	% 36.6	% 12,744	% 35.0	103.35	141.96	% 99.5	% 25.0	% 12.8	% 4.0	% 2.4	% 5.8	% 21.0	% 19.4	% 9.0	百万円 68,517
第8期 2014年12月10日	13,561	-	19.5	15,194	19.2	119.46	147.89	99.4	26.7	11.8	3.9	2.3	5.5	21.7	19.4	8.1	90,887
第9期 2015年12月10日	13,406	-	△1.1	15,127	△0.4	121.50	133.86	99.5	27.3	11.5	4.2	2.0	4.7	23.7	18.7	7.4	107,188
第10期 2016年12月12日	13,181	-	△1.7	15,188	0.4	115.47	121.69	99.4	28.3	10.9	4.1	2.1	5.6	23.9	17.3	7.1	126,394
第11期 2017年12月11日	14,667	-	11.3	16,919	11.4	113.65	133.80	99.6	27.4	10.7	4.0	2.0	5.9	24.6	18.8	6.2	153,979

- ・基準価額は1万円当たりです。
- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)とブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組合せた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。参考指数は、設定日(2007年3月15日)の値を10,000として委託会社が計算したものです。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。
- ・騰落率、小数点第2位を四捨五入しております。
- ・組入比率は、対純資産総額です。組入比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・為替レート(米ドル/円、ユーロ/円)は、わが国の対顧客電信売買仲値を利用してしております。
- ・純資産総額の単位未満は、切り捨てて表示しております。

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) 合成指数		投資対象ファンド組入比率								
	騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率	投資証券 組入比率	U.S.500 ストック	ヨーロッパ ストック	ジャパン ストック	ポリア ックス ストック	エマー ジック ストック	U.S. ガバメント ボンド	ユーロ ガバメント ボンド	ジャパン ガバメント ボンド	
(期首)	円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
2016年12月12日	13,181	-	15,188	-	99.4	28.3	10.9	4.1	2.1	5.6	23.9	17.3	7.1
12月末	13,318	1.0	15,174	△0.1	99.2	27.7	10.7	4.1	2.0	5.3	24.6	17.7	7.1
2017年1月末	13,228	0.4	15,165	△0.2	99.1	27.7	10.8	4.1	2.1	5.6	24.4	17.3	7.1
2月末	13,266	0.6	15,281	0.6	99.0	28.0	10.5	4.1	2.1	5.6	24.5	17.2	7.0
3月末	13,309	1.0	15,385	1.3	99.0	27.5	10.8	4.0	2.1	5.7	24.5	17.4	6.9
4月末	13,384	1.5	15,434	1.6	99.1	27.4	11.0	4.0	2.1	5.7	24.6	17.6	6.8
5月末	13,590	3.1	15,634	2.9	99.1	27.1	11.2	3.9	2.0	5.7	24.5	17.9	6.7
6月末	13,858	5.1	15,892	4.6	99.2	26.9	11.1	3.9	2.0	5.7	24.5	18.5	6.5
7月末	13,861	5.2	15,873	4.5	99.0	26.6	11.1	3.9	2.1	5.9	24.3	18.7	6.5
8月末	13,885	5.3	16,040	5.6	99.1	26.8	10.7	3.8	2.0	6.0	24.3	18.9	6.4
9月末	14,249	8.1	16,368	7.8	99.3	27.2	11.0	3.9	2.0	5.9	24.4	18.6	6.4
10月末	14,461	9.7	16,568	9.1	99.3	27.2	10.8	4.1	2.0	6.0	24.3	18.5	6.3
11月末	14,533	10.3	16,728	10.1	99.0	27.1	10.7	4.0	2.0	6.1	24.2	18.6	6.2
(期末)	円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
2017年12月11日	14,667	11.3	16,919	11.4	99.6	27.4	10.7	4.0	2.0	5.9	24.6	18.8	6.2

- ・騰落率は期首比です。
- ・組入比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

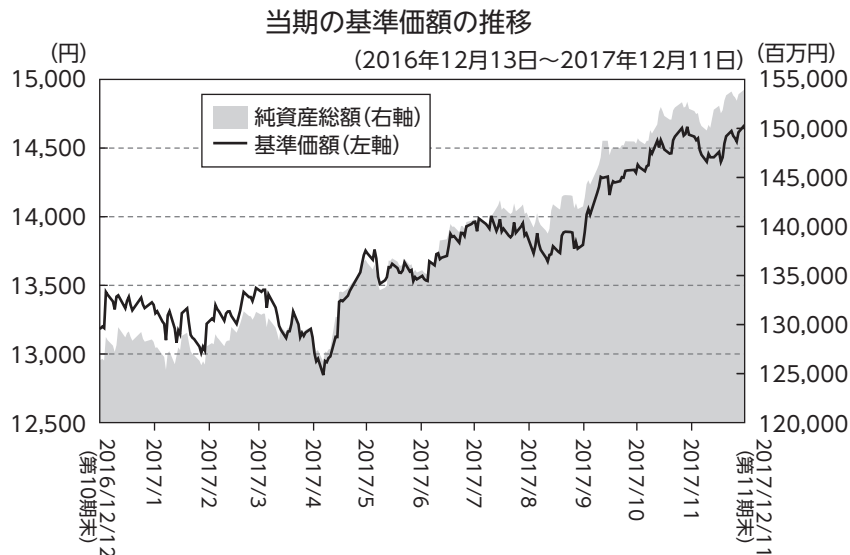
### 期中の基準価額等の推移

当ファンドの第11期(2016年12月13日～2017年12月11日)の年次運用状況をご報告いたします。

当期の基準価額の推移は、2017年4月17日に12,846円の最安値を、2017年12月11日に14,667円の最高値を付け、当期末の基準価額は14,667円となりました。設定から当期末までの基準価額の騰落率は46.7%、当期の騰落率は11.3%でした。

#### 【基準価額のハイライト】

	基準価額	日付
安値	12,846円	2017年4月17日
高値	14,667円	2017年12月11日



- ・当ファンドには、ベンチマークはありません。
- ・分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- ・上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## 【基準価額の主な変動要因】

当期は、株式に投資するファンドが全て上昇して基準価額の上昇要因となり、特に米国株式に投資するファンドが大きく上昇に寄与しました。債券に投資するファンドは、日本に投資するものを除いて上昇し、基準価額の上昇要因となりました。為替は対ドルで円高、対ユーロで円安となり、基準価額の上昇要因となりました。

## &lt; 基準価額のプラス要因 &gt;

バンガード®・U.S.500ストック・インデックス・ファンド (米ドル)
対ユーロでの為替レート (円安)
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド (ユーロ)
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド (円)
バンガード・U.S.ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (ユーロ)
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド (米ドル)

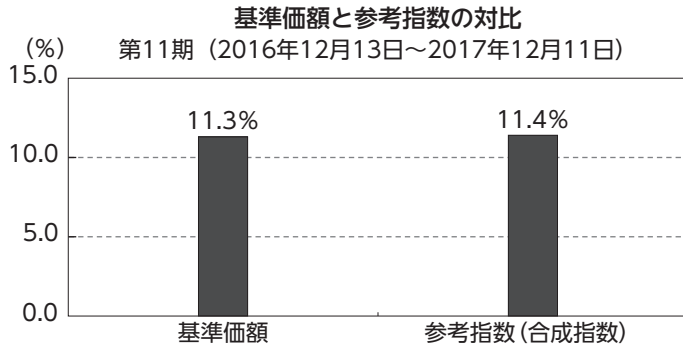
期中騰落率  
11.3%

バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (円)
対ドルでの為替レート (円高)

## &lt; 基準価額のマイナス要因 &gt;

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の当期の騰落率の対比です。



- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)とブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組合せた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。

## 当ファンドの運用経過と結果

当期も引き続き、定期積立プランなどのご購入により受益者の皆さまからお預かりした資金を利用して定められた投資比率に従って各ファンドへの投資を行い、株式と債券の比率が乖離した局面では、比率の高まったファンドを売却し、比率の低下したファンドを購入することにより、リバランスを行いました。

当期は、株式市場の上昇が続いたことから、相対的な組入比率が低下した債券ファンドを中心に投資を行いました。また、2016年12月と2017年10月には、株式市場の上昇を受けて相対的な組入比率が上昇した株式ファンドを売却し、債券ファンドを購入することによりリバランスを行い、結果としては、購入から売却を差し引いた純投資額のほぼ全額を債券ファンドが占めました。



## 投資環境

### 【株式市場の概況】

米国では2016年12月に1年振りとなる政策金利の引き上げ行われ、2017年に入ってから緩やかな政策金利の引き上げが続くと共に、10月からは量的緩和策の縮小が開始され、ユーロ圏でも4月から量的緩和策の拡大規模が縮小されるなど、米国や欧州では金融緩和策の縮小に向けた動きが続いているものの、物価が低迷していることから金融緩和環境が長期間維持されるとの見方が広がりました。

そのなかで、米国や欧州での政治的な混乱への警戒や、北朝鮮情勢を巡る緊張の高まりを受けて軟調に推移する局面もあったものの、米国では減税や規制緩和による景気刺激策への期待が高まったほか、ユーロ圏でも企業の景況感の改善が確認され、先行きに対する明るい見方が広がったことから、リスク選好が強まって1年を通じて上昇基調で推移しました。また、金融緩和環境の長期化観測を背景とした株式市場の上昇が続いていることを受けて、割安と見られる投資先が少なくなってくるなかで、成長への期待が高まっている情報技術関連企業の株価が大きく上昇して市場全体を押し上げたほか、9月以降、日本の株式市場の相対的な割安感に注目が集まり、資金が流入して大きく上昇するなど、少しでも有望な投資先を見つけようとして資金が集中する動きが見られました。

セクター別では、技術革新への期待が高まったことを受けて、情報技術セクターが大きく上昇する一方で、エネルギーシフトによる需要の低下に対する警戒が強まってエネルギーセクターが弱い動きとなりました。

### 【国債市場の概況】

米国では、2016年12月に開催された連邦公開市場委員会(FOMC)で1年振りに政策金利の引き上げが再開され、2017年に入ってから3月と6月に政策金利が引き上げられると共に、10月からは量的緩和の為に保有している資産規模の縮小が開始されたものの、物価の低迷が続いており、当局者からも物価の低迷が一時的な事象ではない可能性が指摘されていることから、2018年以降の利上げペースが緩やかなものになるとの見方が広がり、上昇しました。

ユーロ圏では4月から量的緩和の拡大規模が縮小され、10月に開催された欧州中央銀行(ECB)理事会では2018年1月から一段と拡大規模を縮小することを決定したものの、量的緩和の拡大を少なくとも2018年の9月まで継続することを決定したほか、量的緩和の拡大が継続している間は政策金利の引き上げを行わない方針を示したことから、安心感が広がってイタリアなど周縁国の国債を中心に上昇しました。

日本では、物価の低迷が続くなかで、日本銀行が2016年9月に導入した「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続して実施しているものの、金融緩和策の副作用や限界が意識され、更なる緩和拡大が見込みづらい状況となっていることから、方向感の無い展開でした。

### 【為替市場の概況】

ドルは、米国経済の先行きに対する明るい見方が維持されるなかで、緩やかながら継続的に政策金利が引き上げられ、10月には量的緩和の為に保有している資産規模の縮小が開始されたものの、物価が低迷していることを受けて、2018年以降の政策金利の引き上げペースが緩やかなものになるとの見方が広がり、下落しました。

ユーロは、域内景気の先行きに対する明るい見方が広がったほか、4月から量的緩和の拡大規模が縮小され、10月には2018年1月からさらに拡大規模を縮小することが決まったことから、量的緩和の拡大が終了に向かうとの見方が広がり、上昇しました。

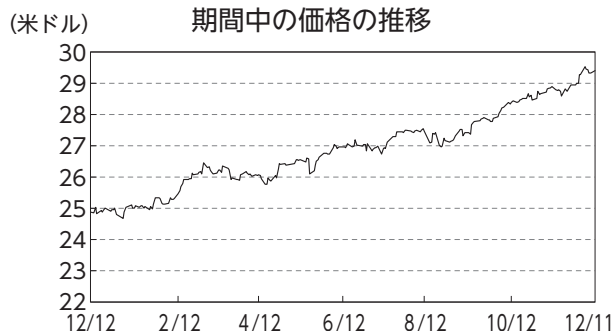
円は、金融緩和策の副作用や限界が意識され、金融緩和の拡大観測が後退したものの、リスク選好が強まったことを受けてやや軟調な展開が続く、対ドルでは円高となったものの、対ユーロで円安となりました。

## 組入ファンドと為替レートの動き

## バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は、+18.95%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



## バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は、+12.48%でした。

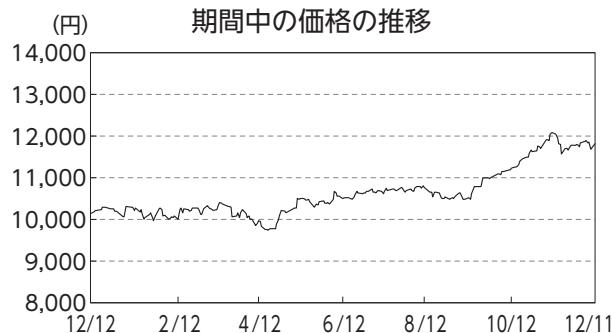
\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



## バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は、+17.63%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



## バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は、+17.13%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



## バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は、+27.12%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



## バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は、+2.17%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



## バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は、+2.46%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



## バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は、-0.41%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



## 為替レートの推移(対米ドル)

当期の対米ドルの為替レートは、1.58%の円高(ファンドの基準価額にはマイナスの影響)\*でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので、為替レートの変化率は、当ファンドの計算期間の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。

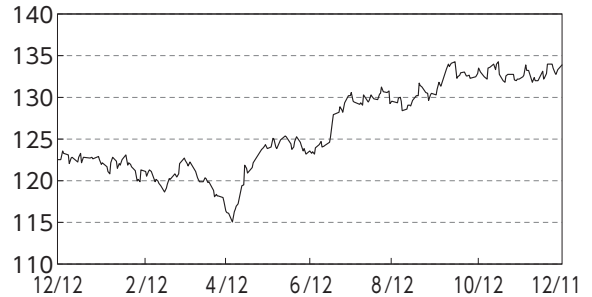


## 為替レートの推移(対ユーロ)

当期の対ユーロの為替レートは、9.95%の円安(ファンドの基準価額にはプラスの影響)\*でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので、為替レートの変化率は、当ファンドの計算期間の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。

(円) 期間中の為替レート(対ユーロ)の推移



## 今後の運用方針

定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行います。原則として新規の流入資金を利用して、定められた投資比率に沿うように分散投資を行い、目標とする比率から一定の乖離が生じた場合はファンドの売却と購入による比率の調整を行います。

運用部長 瀬下 哲雄

## 分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第11期
	2016年12月13日~2017年12月11日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,254

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## 1 万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2016年12月13日~2017年12月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	69円 (37) (26)  (5)	0.499% (0.273) (0.188)  (0.039)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 ・ 委託した資金の運用の対価 ・ 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用  (監査費用)  (その他)	0  (0)  (0)	0.001  (0.001)  (0.000)	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	69	0.500	
期中の平均基準価額は13,726円です。			

- ・ 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・ 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・ 財産維持手数料は当期は発生していません。
- ・ 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・ 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

## 期中の売買及び取引の状況 (2016年12月13日から2017年12月11日まで)

### 投資証券

投資証券		買付		売付		
		□数	金額	□数	金額	
外国	アイルランド	バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口 11	千円 119,800	千口 4	千円 44,384
		バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	31	503,600	-	-
	バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	千口 458	千米ドル 12,384	千口 369	千米ドル 9,702	
	バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	1	250	1	314	
	バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	14	2,585	4	718	
	バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	359	65,427	-	-	
	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	千口 60	千ユーロ 1,212	千口 263	千ユーロ 4,880	
	バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	142	31,458	-	-	

・金額は受渡し代金です。

・千単位未満は切り捨てて表示しております。

## 利害関係人との取引状況等 (2016年12月13日から2017年12月11日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

・利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2016年12月13日から2017年12月11日まで)

該当事項はありません。



## 自社による当ファンドの設定・解約状況 (2016年12月13日から2017年12月11日まで)

該当事項はありません。

## 組入れ資産の明細

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建てファンドの明細 (2017年12月11日現在)

ファンド名	当 期 末				
	単位数 又は口数	評 価 額		比 率	
		外貨建金額	邦貨換算金額		
<b>株式ファンド</b>					
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口 525	千円 6,200,899	千円 6,200,899	% 4.0	
バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	千口 12,645	千米ドル 371,737	千円 42,247,924	% 27.4	
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	111	26,976	3,065,920	2.0	
バンガード・エマーゼィング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	416	79,320	9,014,746	5.9	
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	千口 6,157	千ユーロ 122,980	千円 16,454,795	% 10.7	
小 計	口 数 ・ 金 額	19,855	-	76,984,286	50.0
	銘 柄 数	5	-	-	
<b>債券ファンド</b>					
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 585	千円 9,498,244	千円 9,498,244	% 6.2	
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 1,820	千米ドル 333,754	千円 37,931,158	% 24.6	
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 959	千ユーロ 215,899	千円 28,887,294	% 18.8	
小 計	口 数 ・ 金 額	3,364	-	76,316,697	49.6
	銘 柄 数	3	-	-	
合 計	口 数 ・ 金 額	23,219	-	153,300,983	99.6
	銘 柄 数	8	-	-	

- ・邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
- ・千単位未満は切り捨てて表示しております。
- ・比率は、純資産総額に対する各通貨の投資証券評価額の比率です。
- ・比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・ファンド・オブ・ファンズが組み入れた外貨建てファンドの明細には外国で投資されている円建て資産を含みます。

## 投資信託財産の構成

(2017年12月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 153,300,983	% 99.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,202,193	0.8
投 資 信 託 財 産 総 額	154,503,177	100.0

- ・金額の千円未満は切り捨てて表示しております。比率は小数点第2位を四捨五入しております。
- ・当期末における外貨建資産(153,300,983千円)の投資信託財産総額(154,503,177千円)に対する比率は99.2%です。
- ・外貨建純資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=113.65円、1ユーロ=133.80円です。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	154,503,177,097円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,202,193,110
投 資 証 券 (評 価 額)	153,300,983,987
(B) 負 債	524,094,816
未 払 解 約 金	163,905,360
未 払 信 託 報 酬	359,651,100
そ の 他 未 払 費 用	538,356
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	153,979,082,281
元 本	104,983,634,843
次 期 繰 越 損 益 金	48,995,447,438
(D) 受 益 権 総 口 数	104,983,634,843
1万口当り基準価額 (C/D)	14.667

期首元本	95,890,162,583円
期中追加設定元本額	20,558,025,030円
期中一部解約元本額	11,464,552,770円
1口当たり純資産額	1.4667円

- ・当運用報告書作成時点では監査未了です。

## 損益の状況

当期自2016年12月13日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	13,650,044円
受 取 利 息	75
そ の 他 収 益	14,490,305
支 払 利 息	△840,336
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	15,212,571,674
売 買 損 益	16,869,078,206
売 買 損 益	△1,656,506,532
(C) 信 託 報 酬 等	△687,107,904
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	14,539,113,814
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	21,184,522,229
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	13,271,811,395
(配 当 等 相 当 額)	29,942,590,717
(売 買 損 益 相 当 額)	△16,670,779,322
(G) 合 計 (D + E + F)	48,995,447,438
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	48,995,447,438
追 加 信 託 差 損 益 金	13,271,811,395
(配 当 等 相 当 額)	29,942,590,717
(売 買 損 益 相 当 額)	△16,670,779,322
分 配 準 備 積 立 金	35,723,636,043
繰 越 損 益 金	—

- ・(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- ・(C)信託報酬等には信託報酬等に関わる消費税等を含めて表示しております。
- ・(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- ・計算期間末における費用控除後の配当等収益(13,031,647円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(13,543,157,155円)、信託約款に定める収益調整金(29,942,590,717円)および信託約款に定める分配準備積立金(22,167,447,241円)より分配対象収益は65,666,226,760円(1万口当たり6,254円)ですが、当期に分配した金額はありません。
- ・当運用報告書作成時点では監査未了です。

## お知らせ

---

### 当期中の約款変更について

2016年12月13日から2017年12月11日までの期間に実施した約款変更は以下の通りです。

●2017年3月11日付

信託報酬率を変更するため、「信託報酬等の額」を規定した条文に所要の変更を行いました。

(参考情報)

変更前	信託財産の純資産総額×年0.47%(税抜)
変更後	信託財産の純資産総額×年0.46%(税抜)

## <組入投資対象ファンドの内容>

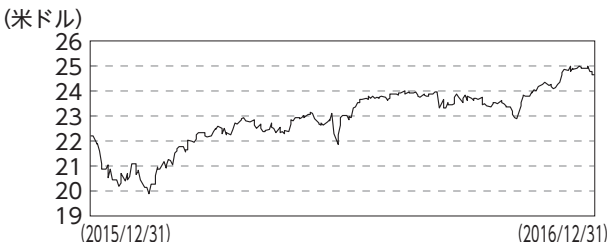
以下は、当ファンドが投資対象としている外国投資証券の運用状況です。

本書作成日時点で入手できる直近の情報として2016年12月末日現在の内容を記載しております。

- ・費用明細に記載されている運用管理比率とは、平均純資産総額に対する運用及び管理等にかかる費用の総額の比率を示したものです。
- ・投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・構成比率は、ファンドの投資資産に対する比率です。
- ・株式の業種は世界産業分類基準(GICS)による分類です。
- ・債券の格付は、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、フィッチ・レーティングスおよびスタンダード&プアーズが付与する情報をバークレイズから入手しています。格付機関3社すべてによる格付が取得できる場合はその中央値、格付機関2社による格付が取得できる場合は低い方の格付、取得できる格付が1社のみの場合はその1社の格付によります。

## 1. バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド

### ■基準価額の推移



### ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.10

### ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	業種	投資比率(%)
1	Apple Inc.	アメリカ	情報技術	3.2
2	Microsoft Corp.	アメリカ	情報技術	2.5
3	Alphabet Inc.	アメリカ	情報技術	2.4
4	Exxon Mobil Corp.	アメリカ	エネルギー	1.9
5	Johnson & Johnson	アメリカ	ヘルスケア	1.6
6	Berkshire Hathaway Inc.	アメリカ	金融	1.6
7	JPMorgan Chase & Co.	アメリカ	金融	1.6
8	Amazon.com Inc.	アメリカ	一般消費財・サービス	1.5
9	General Electric Co.	アメリカ	資本財・サービス	1.4
10	Facebook Inc.	アメリカ	情報技術	1.4
組入銘柄数		506銘柄		

### ■国・地域別構成比率

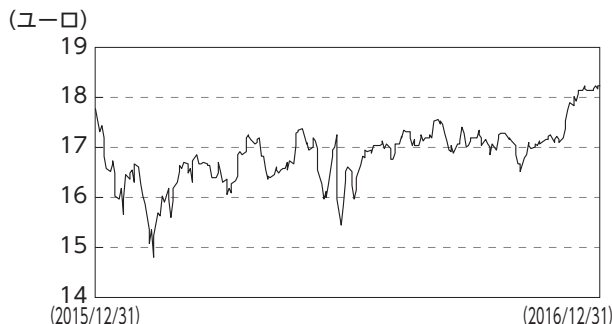
資産の種類	国・地域	構成比率(%)	S&P500 インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	アメリカ	100.0	100.0

### ■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	S&P500 インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	情報技術	20.8	20.8
	金融	14.8	14.8
	ヘルスケア	13.6	13.6
	一般消費財・サービス	12.0	12.0
	資本財・サービス	10.3	10.3
	生活必需品	9.4	9.4
	エネルギー	7.6	7.5
	公益事業	3.2	3.2
	不動産	2.9	2.9
	素材	2.8	2.8
	電気通信サービス	2.6	2.7

## 2. バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.30

## ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	業種	投資比率 (%)
1	Royal Dutch Shell plc	オランダ	エネルギー	3.0
2	Nestle SA	スイス	生活必需品	2.9
3	Novartis AG	スイス	ヘルスケア	2.1
4	HSBC Holdings plc	イギリス	金融	2.1
5	Roche Holding AG	スイス	ヘルスケア	2.1
6	Unilever	イギリス	生活必需品	1.5
7	BP plc	イギリス	エネルギー	1.5
8	TOTAL SA	フランス	エネルギー	1.5
9	British American Tobacco plc	イギリス	生活必需品	1.4
10	Siemens AG	ドイツ	資本財・サービス	1.2
組入銘柄数		463銘柄		

## ■国・地域別構成比率

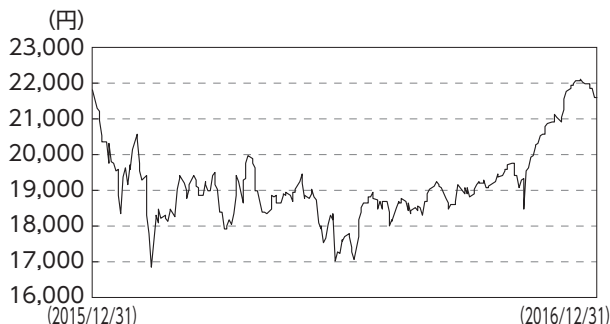
資産の種類	国・地域	構成比率 (%)	MSCI Europe・インデックス ベンチマーク構成比 (%)
株式	イギリス	29.0	29.0
	フランス	16.1	16.1
	ドイツ	14.7	14.7
	スイス	13.7	13.7
	オランダ	5.2	5.3
	スペイン	5.0	5.0
	スウェーデン	4.5	4.5
	イタリア	3.3	3.3
	デンマーク	2.6	2.6
	ベルギー	1.9	1.9

## ■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率 (%)	MSCI Europe・インデックス ベンチマーク構成比 (%)
株式	金融	20.4	20.4
	生活必需品	13.8	13.8
	ヘルスケア	12.8	12.8
	資本財・サービス	12.8	12.8
	一般消費財・サービス	10.8	10.8
	素材	8.2	8.2
	エネルギー	7.8	7.8
	情報技術	4.2	4.2
	電気通信サービス	4.2	4.2
	公益事業	3.6	3.6
	不動産	1.4	1.4

## 3. バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.23

## ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	業種	投資比率 (%)
1	トヨタ自動車(株)	日本	一般消費財・サービス	5.3
2	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本	金融	2.7
3	ソフトバンクグループ(株)	日本	電気通信サービス	2.2
4	(株)三井住友フィナンシャルグループ	日本	金融	1.7
5	本田技研工業(株)	日本	一般消費財・サービス	1.6
6	KDDI(株)	日本	電気通信サービス	1.6
7	(株)みずほフィナンシャルグループ	日本	金融	1.5
8	日本たばこ産業(株)	日本	生活必需品	1.2
9	ソニー(株)	日本	一般消費財・サービス	1.2
10	(株)キーエンス	日本	情報技術	1.1
組入銘柄数		319銘柄		

## ■国・地域別構成比率

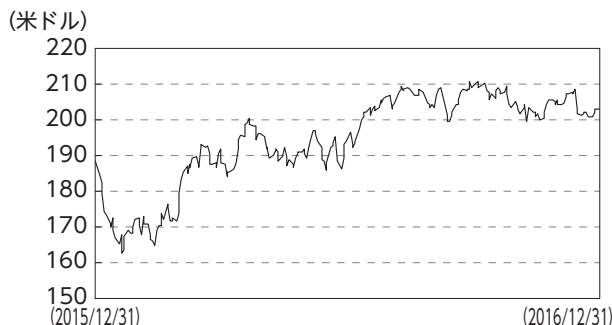
資産の種類	国・地域	構成比率 (%)	MSCI ジャパン・インデックス ベンチマーク構成比 (%)
株式	日本	100.0	100.0

## ■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率 (%)	MSCI ジャパン・インデックス ベンチマーク構成比 (%)
株式	一般消費財・サービス	20.9	20.9
	資本財・サービス	20.1	20.1
	金融	13.9	13.9
	情報技術	10.7	10.7
	生活必需品	7.5	7.5
	ヘルスケア	7.5	7.5
	素材	6.1	6.1
	電気通信サービス	5.8	5.8
	不動産	4.5	4.5
	公益事業	2.1	2.1
	エネルギー	0.9	0.9

## 4. バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.23

## ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	業種	投資比率 (%)
1	Commonwealth Bank of Australia	オーストラリア	金融	6.9
2	Westpac Banking Corp.	オーストラリア	金融	5.3
3	AIA Group Ltd.	香港	金融	4.6
4	Australia & New Zealand Banking Group Ltd.	オーストラリア	金融	4.4
5	National Australia Bank Ltd.	オーストラリア	金融	4.0
6	BHP Billiton	オーストラリア	素材	3.9
7	Wesfarmers Ltd.	オーストラリア	生活必需品	2.3
8	CSL Ltd.	オーストラリア	ヘルスケア	2.2
9	CK Hutchison Holdings Ltd.	香港	資本財・サービス	2.1
10	Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd.	香港	金融	1.8
組入銘柄数			152銘柄	

## ■国・地域別構成比率

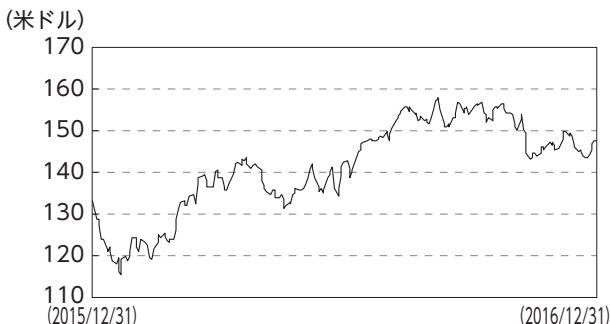
資産の種類	国・地域	構成比率 (%)	MSCI パシフィック・エクスジャパン・インデックスベンチマーク構成比 (%)
株式	オーストラリア	61.3	61.3
	香港	26.9	26.9
	シンガポール	10.3	10.3
	ニュージーランド	1.5	1.5

## ■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率 (%)	MSCI パシフィック・エクスジャパン・インデックスベンチマーク構成比 (%)
株式	金融	39.8	39.8
	不動産	14.5	14.5
	素材	10.0	10.0
	資本財・サービス	9.0	9.0
	生活必需品	5.4	5.4
	公益事業	5.4	5.4
	一般消費財・サービス	5.2	5.2
	ヘルスケア	3.8	3.8
	電気通信サービス	3.4	3.4
	エネルギー	3.0	3.0
	情報技術	0.5	0.5

## 5. バンガード・エマーシング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.27

## ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	業種	投資比率(%)
1	Samsung Electronics Co. Ltd.	韓国	情報技術	4.3
2	Tencent Holdings Ltd.	中国	情報技術	3.5
3	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	台湾	情報技術	3.5
4	Alibaba Group Holding Ltd.	中国	情報技術	2.5
5	China Mobile Ltd.	香港	電気通信サービス	1.6
6	China Construction Bank Corp.	中国	金融	1.6
7	Naspers Ltd.	南アフリカ	一般消費財・サービス	1.6
8	Baidu Inc.	中国	情報技術	1.1
9	Industrial & Commercial Bank of China Ltd.	中国	金融	1.1
10	Hon Hai Precision Industry Co. Ltd.	台湾	情報技術	1.0
	組入銘柄数	845銘柄		

## ■国・地域別構成比率

資産の種類	国・地域	構成比率(%)	MSCI エマーシング マーケット・インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	中国	26.5	26.5
	韓国	14.4	14.4
	台湾	12.2	12.2
	インド	8.3	8.3
	ブラジル	7.7	7.7
	南アフリカ	7.1	7.1
	ロシア	4.5	4.5
	メキシコ	3.5	3.6
	インドネシア	2.6	2.6
	マレーシア	2.5	2.5

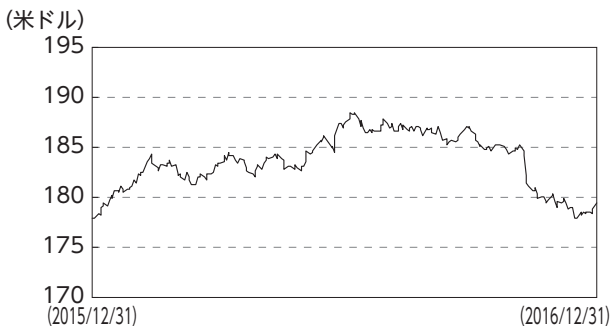
## ■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	MSCI エマーシング マーケット・インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	金融	24.4	24.4
	情報技術	23.3	23.2
	一般消費財・サービス	10.2	10.3
	エネルギー	7.9	7.9
	素材	7.4	7.4
	生活必需品	7.3	7.2
	電気通信サービス	5.9	5.9
	資本財・サービス	5.7	5.7
	公益事業	2.9	2.9
	不動産	2.6	2.6
	ヘルスケア	2.4	2.5



## 6. バンガード・U.S.ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.20

## ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	証券種別	利率 (%)	償還年月日	投資比率 (%)
1	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	0.875	2019/5/15	1.72
2	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	1.625	2023/4/30	1.72
3	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	1.375	2021/4/30	1.48
4	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	1.000	2018/11/30	1.48
5	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	0.750	2018/4/30	1.47
6	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	1.375	2019/12/15	1.45
7	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	1.750	2021/11/30	1.43
8	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	0.750	2018/1/31	1.24
9	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	0.875	2019/4/15	1.08
10	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	2.125	2023/11/30	1.07
組入銘柄数			352銘柄			

## ■残存期間別構成比率

期間	構成比率 (%)
5年未満	58.7
5年以上10年以下	26.2
10年超	15.1

## ■格付別構成比率

格付	構成比率 (%)
AAA	98.6
NR	1.4

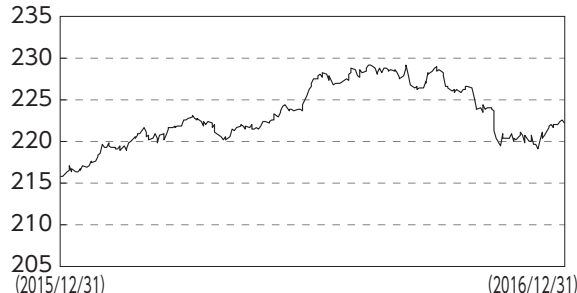
## ■国・地域別構成比率

資産の種類	国・地域	構成比率 (%)
債券	アメリカ	100.0

## 7. バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移

(ユーロ)



## ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.20

## ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	証券種別	利率 (%)	償還年月日	投資比率 (%)
1	FRANCE (GOVT OF)	フランス	国債証券	1.750	2023/5/25	1.12
2	FRANCE (GOVT OF)	フランス	国債証券	5.750	2032/10/25	1.04
3	FRANCE (GOVT OF)	フランス	国債証券	2.750	2027/10/25	0.86
4	BUNDESobligation	ドイツ	国債証券	0.000	2021/10/8	0.84
5	FRANCE (GOVT OF)	フランス	国債証券	4.500	2041/4/25	0.84
6	BUNDESREpub.	ドイツ	国債証券	0.000	2026/8/15	0.74
7	FRANCE (GOVT OF)	フランス	国債証券	1.750	2024/11/25	0.68
8	FRANCE (GOVT OF)	フランス	国債証券	3.500	2020/4/25	0.66
9	BUONI POLIENNALI	イタリア	国債証券	1.050	2019/12/1	0.66
10	BUNDESREpub.	ドイツ	国債証券	3.250	2020/1/4	0.66
組入銘柄数		704銘柄				

## ■残存期間別構成比率

期間	構成比率 (%)
5年未満	40.4
5年以上10年以下	33.8
10年超	25.8

## ■格付別構成比率

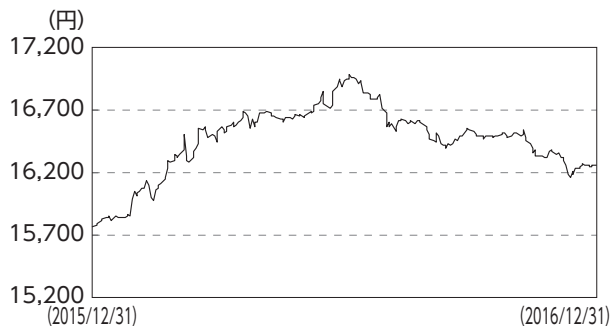
格付	構成比率 (%)
AAA	26.1
AA	36.6
A	3.4
BBB	33.7
NR	0.2

## ■国・地域別構成比率

資産の種類	国・地域	構成比率 (%)
債券	フランス	25.0
	ドイツ	22.1
	イタリア	20.9
	スペイン	12.5
	オランダ	6.0
	ベルギー	5.8
	オーストリア	3.8
	アイルランド	1.7
	フィンランド	1.4
	スロバキア	0.4

## 8. バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.20

## ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	証券種別	利率 (%)	償還年月日	投資比率 (%)
1	第128回利付国債(5年)	日本	国債証券	0.100	2021/6/20	2.94
2	第365回利付国債(2年)	日本	国債証券	0.100	2018/6/15	2.24
3	第129回利付国債(5年)	日本	国債証券	0.100	2021/9/20	2.20
4	第127回利付国債(5年)	日本	国債証券	0.100	2021/3/20	2.17
5	第344回利付国債(10年)	日本	国債証券	0.100	2026/9/20	1.79
6	第117回利付国債(5年)	日本	国債証券	0.200	2019/3/20	1.40
7	第341回利付国債(10年)	日本	国債証券	0.300	2025/12/20	1.34
8	第343回利付国債(10年)	日本	国債証券	0.100	2026/6/20	1.30
9	第321回利付国債(10年)	日本	国債証券	1.000	2022/3/20	1.16
10	第342回利付国債(10年)	日本	国債証券	0.100	2026/3/20	1.16
組入銘柄数		400銘柄				

## ■残存期間別構成比率

期 間	構成比率 (%)
5年未満	36.8
5年以上10年以下	24.1
10年超	39.1

## ■格付別構成比率

格 付	構成比率 (%)
AAA	△0.1
A	94.5
NR	5.6

## ■国・地域別構成比率

資産の種類	国・地域	構成比率 (%)
債券	日本	100.0

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む)及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltd. より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。

従って、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltd. は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

- ・MSCIジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIヨーロッパ・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、ヨーロッパの先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIパシフィック・エクスジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、太平洋地域の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の先進国および新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。
- ・S&P500は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス(S&P DJI)の商品です。この指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。  
S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失(収入の損失、利益の損失、機会費用を含む)について一切の責任を負いません。

本書では、各投資対象ファンドを以下の通りに省略して記載することがありますのでご了承ください。

バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	→ U.S.500ストック及びU.S.500ストック・インデックス・ファンド
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	→ ヨーロピアン・ストック及びヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→ ジャパン・ストック及びジャパン・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→ パシフィック・エクスジャパン・ストック及びパシフィック・エクスジャパン・ストック・ファンド
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	→ エマージング・マーケット・ストック及びエマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ U.S.・ガバメント・ボンド及びU.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ ユーロ・ガバメント・ボンド及びユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ ジャパン・ガバメント・ボンド及びジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## TOPICS：《当社の直接販売の状況 第11期（2016年12月13日～2017年12月11日）》

## ○ 当期のふりかえり

2017年 3月	ファンド設定10周年
3月	運用管理費用（信託報酬）の引き下げ
10月	つみたてNISA対象商品として両ファンドを届出し、受付を開始
10月	純資産総額 2,000億円
11月	お客さま口座数 13万口座

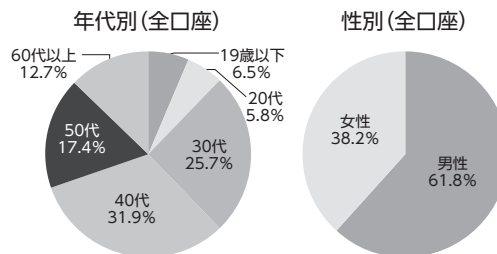
## ○ 2017年12月11日現在 お客さま口座数 130,177件(前期比+12.0%)

米国を中心とした世界的な株高の期間と重なり、当社の直接販売の口座数も増加しました。お客さまはこの1年間で13,948名増え、前期間の増加数とほぼ同じ水準でした。  
(前期間末のお客さま口座数116,229件、前期間の口座増加数+14,377件)

## ○ お客さまの特徴

年代別は「資産形成層」の30代～40代が57.6%と大きな割合を占めています。

性別の構成は女性比率が更に高まり、前期から1.4%増え38.2%になりました。



## ○ ファンドの設定・解約の状況

前期間から引き続き、当期間も純資金流入が毎月継続しました。純資金流入額は161.4億円となり、開業来最多額となった前期間の金額(271.6億円)を下回りました。追加設定額は前期間を上回り高水準で推移しましたが、一部解約額が前期間を上回ったため、純資金流入額が減少しました。

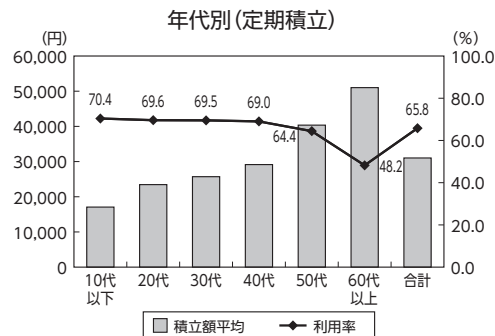
(当社ファンドの合計、金額ベース)

## ○ 定期積立プラン

当サービスの利用率は65.8%となっております。

前期から引き続き、当サービスを継続して高い割合でご利用いただいています。また、積立額の平均は31,016円でした。

・定期積立プランは、当社が運用、販売するファンド2種類のいずれか、もしくは両ファンド定期積立サービスをご利用いただいている方を対象としてデータを作成しています。また積立額平均、利用率は2017年12月時点の数値であり、積立額の平均は増額月の増額分の金額を含まない平均値です。



安定して新しいお客さまが増え、純資産残高も大きく伸長した1年となりました。これも皆さまのおかげと深く感謝しております。これからも投資家の皆さまと共に長期で成長する会社であり続けるため、一つ一つのこだわりを大切に、お客さまのためのサービス提供に努めてまいります。

※お客さまの特徴や口座、金額は、保有しているファンドの種類や有無に関係なく、当社に口座を開設していただいている直接販売のお客さまを集計したものととなります。

※金額は、明記されたものを除き当社が運用、販売するファンド2種類を合計した数値となっております。